

「ゆとりがなくなってきた」56%

日銀生活意識アンケート

日本銀行が12日に発表した3月の生活意識に関するアンケートの結果で、1年前と比べて「ゆとりがなくなってきた」と答えた人の割合が56・0%で、リーマン・ショック後の2010年3月以来の高水準だっ

た。物価の上昇を理由に挙げる人が最も多かった。

アンケートは全国の20歳以上を対象に、3カ月ごとを実施。今回は2月3日～3月1日に約2千人から有効回答を得た。1年前と比べた暮らし向

きについて聞いたところ、

「ゆとりがなくなってきた」との回答が最も多く、割合は21年12月調査以来、6回連続で増えた。「ゆとりが出てきた」との回答は3・8%に過ぎなかった。ゆとりがなくなった理由(複数回答)は「物価が上がったから」が最多の90・4%で、過去最高を更新し

た。「給与や事業などの収入が減ったから」(37・1%)との回答も多かった。

物価の上昇を感じている人の割合は高く、1年前と比べて「物価が上がった」と答えた人は94・5%で、2008年9月調査に次ぎ過去2番目の高水準だった。(久保田信暉)